

2017 RESCUE REPORT 記入と提出について

記入について

- ・ パトロール活動中にビーチ、水中を問わず救急車を要請した場合には、全例 RESCUE REPORT(以下レポートと言う)の記入をお願いします。
- ・ レポートは心肺停止事案については全項目を記入、それ以外の事案については別紙記入説明書面に従って記入してください。
- ・ レポートは救急要請事案対応後、当日～数日以内に記入するよう努めてください。

レポートの提出について

- ・ 記入して頂いたレポートは、傷病者記録票と共に記入後その都度、協会にご提出をお願いします。
- ・ 協会に提出して頂いたレポートの保管期限は事案から5年とし、保管期限過ぎたものはシュレッダーを用いて処分します。
- ・ 提出して頂いたレポートの事案について、協会から各浜、各クラブへ問い合わせをさせて頂く場合があります、ご理解の程をお願いします。
- ・ 提出して頂いたレポートは、分析、集計を行い、適宜各会員クラブにフィードバックしていきます。

レポートの変更点

下記、前年度レポートからの記入事項の追加項目と追加理由です。

- ・ 海上保安庁、消防(救助)、警察との連携について
JLA では、公的機関との連携について実態を把握するため、レスキュー事案における上記機関との連携内容について記入する項目を追加しました。公的機関との連携を深め、現場活動の質の向上を図ります。
- ・ 心肺停止事案への対応における、救急隊到着後の経過について
心肺停止後の経過について記入する項目を追加しました。
心肺停止後の心拍再開について、ウツタイン統計^{※1}では、心肺停止直後に心拍再開したかどうかと合わせて、発生から1か月後の生存率および1か月後の社会復帰率を指標としています。心肺蘇生実施後の傷病者の予後について、可能な限り連携する地域の消防等から情報を入手するよう努め、知り得た情報の詳細を記入するようにしてください。これらの情報を得ることで消防や医療機関と共通の基準による数値化ができ、ライフセーバーによる CPR 実施の効果を示すことが期待できます。

※1 ウツタイン様式とは…病院外の心肺停止症例を対象にした消防、医療機関で統一された記録様式。

郵送先

郵便番号： 105-0013

東京都港区浜松町2-1-18

特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会 (担当:中山)

溺水防止救助救命本部 宛

FAX 番号： 03-3459-1446 E-mail アドレス： patrol@jla.gr.jp

